

## SCOA の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について

SCOA は公益財団法人キープ協会と連携し、キャンプ中の COVID-19 感染リスクを最小限に抑えます。キープ協会の COVID-19 予防の取り組みについてはこちらのページをご参照ください：[https://www.keep.or.jp/change/sub\\_oshirase\\_c\\_k.html](https://www.keep.or.jp/change/sub_oshirase_c_k.html)

### 具体的な取り組みについて

- 定員 14 名のキャビンに各棟 7 名以下のキャンパーが同室となります。
- 手指消毒液が常時用意されます。
- 食事の時間や入浴中、就寝時を除き、屋内でのマスク着用を徹底します。また、入浴中は長時間の密を避ける為、シャワーのみとなります。
- 食堂の最大収容人数は 110 人ですが、密を避ける為、最大 60 名までが入室できます。また、食事の際には間隔を空け、会話は極力控えていただきます。
- バスの車内でも常時マスク着用を徹底し、食事は禁止となります。また、会話は極力控えていただきます。
- 屋外でのマスク着用は熱中症対策やアクティビティーの内容などを考慮し、臨機応変に対応してまいります。
- 初日のチェックイン時にスタッフと参加者に検温を行い、37.5 度以上の発熱が確認された場合には当該者はキャンプに参加することができません。
- COVID-19 の症状及びそれに関連した症状が見られる参加者はキャンプに参加できません。
- キャンプ中、朝と夜にスタッフと参加者への検温が行われます。

### キャンプ中の健康問題について

参加者及びスタッフに COVID-19 の症状及びそれに関連した症状が見られた場合、体調や発熱等の健康状態を基に健康観察が必要かどうか判断します。健康観察中に万が一状態が悪化した場合には、保護者様に連絡をしてお迎えに来ていただきます。

ただし、ハイキング後の疲労感や走ったあとの息切れ等の場合には COVID-19 の症状を疑うことはありません。上記のような場合には適切なケアを行い、休憩が必要な場合には休憩していただきます。アクティビティに参加できる状態になったら参加を続行できます。（その後も適宜健康状態のチェックを行います）

また COVID-19 以外の場合でも、深刻な体調不良や極めて思い症状等が見られた場合、COVID-19 関連症状のケースと同様に健康観察が必要かどうかの判断をし、万が一状態が悪化した場合には、保護者様に連絡をしてお迎えに来ていただきます。